

# 令和7年度産業医慢性痛研修会 — がんサバイバーの痛み —

参加  
無料

日時

2026年2月20日（金曜日）  
19:00～21:00

定員

40名

事前登録制

会場

川崎医科大学附属病院  
臨床教育研修センター 演習室6

がんを経験した後も続く慢性痛は、身体機能や生活の質だけでなく、職場復帰や就労継続にも影響し、緩和ケアや産業保健の重要な課題となっています。本講演では、がんサバイバーの痛みの特徴や評価、治療、ケアの実際を紹介し、治療と仕事・生活の両立を支えるために医療者が果たす役割を考えます。

演題1

がんサバイバーの慢性痛 乳がん患者の痛みと  
その影響

横浜市立大学附属市民総合医療センター 緩和ケア内科診療科部長

小島 圭子 先生

演題2

がんサバイバーの慢性疼痛治療

信州大学医学部附属病院 信州がんセンター緩和部門教授

間宮 敬子 先生



医師、看護師、臨床心理士、公認心理師、理学療法士、薬剤師、医療系学生などの医療従事者、介護職の方など慢性痛に興味をお持ちの方は参加可能です。事前申し込みをお願いいたします。

日本医師会認定産業医制度 生涯研修 専門:2単位

お申込み <https://forms.gle/5ZD3XGyi7JYWUjCw9>

お問い合わせ

川崎医科大学 先端腫瘍医学E-mail : [sentan@med.kawasaki-m.ac.jp](mailto:sentan@med.kawasaki-m.ac.jp)  
086-462-1111（内線26508）



【主催】川崎医科大学附属病院、厚生労働省慢性疼痛診療システム均てん化事業中国地区

【共催】厚生労働省慢性疼痛診療システム均てん化事業近畿地区